



赤羽だより

11月号



令和3年11月1日(月) 港区立赤羽小学校

「いじめ防止月間」「児童虐待防止月間」の取り組み

校長 宮崎 直人

朝晩の風が冷たく感じられるようになってきました。校庭の落ち葉が日に日に増え、秋の深まりを感じられる季節となりました。10月は、学校公開を実施しました。感染症予防対策の観点から、公開は保護者のみ、授業を見学する人数と時間を限定して行いました。多くの保護者の方にご来校いただき、子供たちの学習の様子を見ていただき、ありがとうございました。また、2年振りに「箱根移動教室」(6年生)を行うことができました。感染症予防対策に万全を期して実施しました。例年よりも短い1泊2日の日程でしたが、天候にも恵まれて、充実した活動を行うことができました。保護者の皆様、関係の皆様に感謝を申し上げます。

さて、11月は、子供の人権に関する大きな取り組みが2点あります。

まず、東京都教育委員会が定めている「ふれあい月間」(いじめ防止月間)です。

いじめ、自殺、不登校、犯罪・非行等の未然防止やその対応に係る取組の充実を図るため、都内全公立学校で様々な取組が行われます。本校においても、「学校生活アンケート」やいじめ防止に関する指導の実施など、安心して学校生活を送るための取組を行ってまいります。

また、全校朝会での校長講話や学級指導、「特別の教科 道徳」での指導を通して、「いじめや暴力は絶対にしない、させない、許さない」ことについて子供たちに考えさせ、「いじめ防止」の徹底を図ってまいります。ご家庭におかれましても、この機会に思いやりの心の大切さ、言葉の遣い方、生命の尊さなど、他の人との関わりや生命の尊重に関することについて話し合う機会を設けていただければ幸いです。

2点目は、「児童虐待防止推進月間」です。

児童相談所への児童虐待に関する相談件数が年々増加の一途をたどっており、重大な児童虐待事件が後を絶たないなど、依然として深刻な社会問題となっています。児童虐待防止法には、虐待行為の内容として、①身体的虐待、②性的虐待、③ネグレクト(保護の怠慢)④心理的虐待 が定められています。

学校の教職員は、日頃から子供たちに接する立場及び子供の教育的指導に当たる機関としての立場から、児童虐待の防止等のために適切な役割を果たすよう、早期発見の努力義務や関係機関への通告義務などの役割が課されています。(児童虐待防止法 第5条、第6条)

本校におきましても、児童虐待防止法に基づき、児童虐待があると思われるときは、速やかに港区子ども家庭支援センターや児童相談所等に通告するとともに、関係機関と連携し、対応してまいります。



児童虐待防止のシンボルマーク「オレンジリボン」

開校95周年記念特集:赤羽小学校の歴史 その⑦ 赤羽幼稚園開園と新校舎建設

赤羽小学校は、昭和41年に開校40周年を迎えました。児童数は、800名位になりました。昭和45年には、赤羽幼稚園が小学校に併設する形で開園しました。初代園長(第11代校長) 安藤 博先生は、当時のことを「港区・港区教育委員会、小学校の PTA ならびに地元の方々のご協力は並々ではなく、改めて深く感謝申し上げる次第です。」と振り返っています。校舎が古くなり、修繕や塗り替えなどを行いながら大切に使っていましたが、昭和47年に学校を建て替えることとなりました。開校50周年記念誌には、この頃のことをこのように書いています。「ちょっと薄暗いけれど、どっしりした校舎は皆に惜しまれ、作文や詩を書いたり、好きな所を写生したりしてお別れしました。」新校舎建設のために、三田通りの国際ビルのある所にプレハブの仮校舎ができました。校庭が狭かったので、毎週月曜日には、芝グラウンドで思い切り走り回るといった楽しみもありました。給食はなく、お弁当でした。新しい校舎は、昭和49年8月に完成しました。夏休みに仮校舎から新校舎へ引っ越しました。新校舎の完成を記念して、「あかばね新校舎」という冊子も作られました。その当時のことがこのように記録されています。「4階建て、真っ白な壁で、どの教室にも太陽の光があふれています。」それから、47年が経ちました。



新校舎改築記念誌より

箱根移動教室を終えて

第6学年 宇佐美 真美・生井 湊・利田 勇樹

6年生は、10月20日～21日に、箱根移動教室に行ってきました。待ちに待った移動教室です。子供たちは、この日をとても楽しみにしていました。

出発式では、校長先生から、「挨拶すること」「進んで行動すること」「皆で協力すること」について、お話がありました。バスに乗り、海老名サービスエリアを過ぎた頃、「わあー！すごい！富士山だ！」と車内に歓声が上がり、子供たちの気持ちも徐々に高まっていきました。

箱根の関所や遊覧船では、箱根の自然を感じることができました。クラフト体験では、木の実や種などを上手に使い、キーホルダーを作りました。普段できない経験を積むことができ、楽しく過ごせました。1日目の夜の「スポーツフェスティバル」は、クラス対抗戦で行い、熱い戦いとなりました。それぞれのクラスの結束力がより高まったと思います。2日目は、関所でお土産を買った後、小田原城をグループで見学しました。

移動教室を通して、子供たちは多くのことを学ぶことができました。歴史的な観点で箱根や小田原を体験できたこと、仲間と協力することで、楽しさが倍増したこと、一方で、グループ活動等で、友達と折り合いをつける難しさも感じていたようです。今回の移動教室では、普段学校ではできない多くの経験をすることができました。一回り大きく成長して帰って来ることができたのではないかと思います。この2日間の学びをこれからの学校生活に生かし、赤羽小学校の最上級生として、ますます活躍してほしいと願っています。

移動教室は、保護者の皆様や箱根ニコニコ学園のスタッフの方々、港区教育委員会の皆様など、たくさんの方々の支えにより実施することができました。関係の皆様には深く感謝を申し上げます。



校内音楽鑑賞教室（5年生）

担当 西之原 理恵子

10月14日(木)に、「和楽器オーケストラ あいおい」の皆様にご来校いただき、校内音楽鑑賞教室を行いました。

今回の音楽鑑賞教室は、プロの演奏家による生演奏を鑑賞し、実際に体験することで、音楽に親しみ、表現の意欲を高めることをねらいとしています。

当日は、尺八や箏、十七絃による「春の海」と「ソランスケルツォ」の演奏を鑑賞しました。

子供たちは、プロの演奏の迫力に驚き、真剣な表情で演奏を聴いていました。箏の演奏体験では、各クラスの代表児童が「さくらさくら」の演奏を行い、一緒に演奏する貴重な機会を楽しんでいました。とても貴重な体験ができました。



ドリームプロジェクト（6年生）

担当 利田 勇樹

10月26日(火)に、ドリームプロジェクトを行いました。このプロジェクトでは、子供たちが様々な職業のプロフェッショナルと出会います。子供たちに憧れの職業を身近に感じてほしいと願い、参加しました。

ドリームプロジェクトは、10月、11月、12月の計3回行います。児童は興味のある職業を調べて、話を聞きたい講師の先生を選択します。

第1回目は、「小児科医」、「ファッションモデル」、「ミュージカル俳優」の3人の先生でした。それぞれの仕事の楽しさや、やりがいを教わりました。また、仕事を始めるようになったきっかけもお聞きしました。

子供たちは、とても真剣に聞いていました。今回のプロジェクトが、子供たちの夢の実現の一助となることを願っています。



引き取り訓練

担当 三好 結子

10月16日(土)に引き取り訓練を実施いたしました。本校では、東京都に大規模な地震が発生したことを想定した引き取り訓練を毎年実施しております。

今年度もお子様の出席番号ごとに時間帯を分けて訓練を実施しました。保護者の皆様のご理解とご協力をいただき、スムーズに行うことができました。心から感謝申し上げます。

今後、児童を引き渡す機会があった場合には、このような形でご協力いただくことになりますので、ご理解をよろしくお願いいたします。

学校公開

副校長 日原 茂貴

10月13日から15日まで学校公開を行いました。人数制限を行うなど感染症対策を実施する中での公開となりましたが、保護者の皆様のご協力を得てスムーズに開催することができました。

授業が終わって、児童が「たくさん手を挙げたよ。」と笑顔で話してくれました。緊張しながらも張り切って学習に取り組んでいる様子をご覧いただけたことと思います。学校公開アンケートに様々なご意見・ご感想をいただきました。いただいた意見を今後の教育活動に生かしてまいります。

豊かな心を育てる指導の工夫

研究主任 神村 和輝

本校では、昨年度から「豊かな心を育てる指導の工夫」というテーマで日々授業実践を積み重ねています。「各教科」「特別活動」「特別の教科 道徳」の授業が関わり合って豊かな心の育成を目指しています。

私たちは、「豊かな心の育成」を「自己有用感の高まり」と考えています。自己有用感とは、自分と他者との関係を、自他ともに受け入れられることで生まれる自己に対する肯定的な評価のことを言います。

自分の考えを人に伝えることや人の考えを認めることなど、人との関わり方を身に付けさせ、自信をもって学校生活を送ってほしいと願っています。

ご家庭でも授業のことや友達のことなど学校の話をしていただき、子供たちの成長を感じていただければと思います。



令和3年度の主な行事予定

※ 現段階での予定です。今後も、新型コロナウイルスへの対応等により予定を変更する場合がありますので、学校のホームページ、緊急メール配信等で必ずご確認ください。

2学期			3学期		
11月	11月 20日	音楽発表会(5・6年、ひまわり発表日) ※ 1～4年は、鑑賞のみ。1～4年の発表日は、別途設定。	1月	10日	冬季休業日(終)
	22日	振替休業日		11日	始業式
	25日～12月3日	個人面談		12日	給食(始)
12月	4日	大縄大会	2月	24日～2月5日	書き初め展
	14日	音楽鑑賞教室(5年)		5日	学校公開・道徳授業地区公開講座
	24 30日～12月1日	特別支援学級合同移動教室		10日	遠足(ひまわり)
	23日	給食(終)		18～19日	展覧会
	24日	終業式	3月	25日	新1年生保護者会
	25日	冬季休業日(始)		1日	保護者会(1～3年、ひまわり)
				3日	保護者会(4～6年)
				4日	ありがとうの会
				5日	6年生を送る会
				23日	給食(終)
				24日	卒業式
				25日	修了式
				26日	春季休業日(始)

2学期以降の土曜授業日



2学期(あと2回)…… 11月20日、12月4日

3学期(4回) …… 1月29日、2月5日、2月19日、3月5日



11月の生活目標

「力を合わせて生活しよう」

生活指導部

今月の目標は「力を合わせて生活しよう」です。例年ですと、11月は学芸会や音楽会などの大きな行事のある月です。その行事へ向けて、クラス、学年、そして学校全体で「協力」し、1つのものを作り上げる経験ができるよい機会となっています。

今年度は、音楽発表会として各学年クラス別に行うこととなりました。例年通りというわけには行きませんが、それぞれのクラス、学年で、音楽の学習の成果を発表する機会を作り、取り組んでいくこととなります。その第1弾として、5・6年生とひまわり学級が11月に音楽発表会を行います。1～4年生に関しては、12月以降に行う予定で、それぞれの学年で少しずつ練習を始めています。

学校行事だけでなく、日々の学校生活でも「協力」は大切なキーワードです。学校では、それぞれ違った個性をもった友達と一緒に生活しています。たくさんの友達と関わり合いながら仲良く学校生活を送るためにはまず、自分自身を知り、自分の良いところを見付けることが大切です。

そして、周りの友達の良いところも見付け、互いを知り、認め合い、協力し合いながら生活できるようになってほしいと思います。また、子供たちが楽しく学校生活を送ることができるのは、保護者の方や地域の方の協力があってこそだと感謝しております。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

お知らせ

- 図工(3～6年)を担当している、田尻 香代子 教諭は、しばらくの間、お休みをいただくこととなりました。その代わりに、10月から、小林 砂織(こばやし さおり)教諭が図工(3～6年)を担当いたします。また、森 友香 栄養士は産休のため、恩田 順子 栄養士が給食を担当いたします。よろしくお願いいたします。

○ 個人面談について

11月25日、26日、30日、12月2日、3日に個人面談を行います。各学級から日程希望調査を配布し、後日、日程等詳細についてお知らせいたします。ご協力をよろしくお願いいたします。

○ 音楽発表会について

今年度の音楽発表会は、密にならないように学級毎の発表にする等、感染症対策を行った上で実施いたします。そのため、実施日が学年により異なります。詳細につきましては、後日、各学年からお知らせいたします。

赤羽小学校では、学校の様子をホームページとTwitterで発信しています。

ぜひ、ご覧ください。

(ホームページ)

<http://akabane-es.minato-kyo.ed.jp>

(Twitter) @akabaneeschool



11月の行事予定

日	曜日	学校行事・予定等
1	月	全校朝会 委員会活動
2	火	安全指導日 合同移動教室事前交流会(ひまわり)
3	水	文化の日
4	木	合同移動教室説明会(ひまわり オンライン)
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	全校朝会 6時間授業(4～6年)
9	火	
10	水	給食委員会発表
11	木	
12	金	都学力テスト(5年)
13	土	
14	日	
15	月	全校朝会 6時間授業(4～6年) ドリームプロジェクト(6年)
16	火	
17	水	児童集会 就学時検診
18	木	
19	金	音楽発表会前日準備 5時間授業
20	土	音楽発表会(5・6年、ひまわり発表日) 特別時程(給食あり 14:10下校)
21	日	
22	月	振替休業日
23	火	勤労感謝の日
24	水	全校朝会 避難訓練
25	木	ハンガリー共和国のお話(6年) ハンガリー給食(全校) 体育集会(1～3年) 個人面談 5時間授業
26	金	体育集会(4～6年) 都学力テスト(4年) 町探検(2年) 個人面談 5時間授業
27	土	
28	日	
29	月	全校朝会 委員会活動 特別支援学級合同移動教室事前検診(ひまわり)
30	火	特別支援学級合同移動教室(ひまわり) 個人面談 5時間授業

自分を守るためには

副校長 日原 茂貴

霜月となり、文字通り「霜の降る月」と言われるほど寒さに厳しくなる時期です。今年の11月7日が立冬となり暦の上で冬を迎えます。朝晩の冷え込みが厳しくなり、登校時にポケットに手を入れて歩いている児童が目につくようになりました。手をポケットに入れていたら転んだ時に、自分の身体を守ることができません。特に今年は登校時に転んでけがをしたという話をよく聞きます。登下校時だけではありません。休み時間等にも転んでけがをする児童が例年より増えています。「登下校時は走らずに歩いて登校する。」「転んだ時に手をついて体を守れるように手を空けておく。」「自分の周りのよく見て状況を把握する。」等、気を付けなければならないことはたくさんあります。けがや事故等から自分を守るための方法を学校でも指導してまいります。ぜひご家庭におきましてもお子様とご確認ください。